



校訓「自主・協調・明朗」 平成28年10月4日

日新中学校だより

尼崎市立日新中学校長 尾知山光郎

道徳教育実践研究発表会

兵庫県教育委員会指定の道徳教育実践研究発表会を9月30日（金）に開催しました。兵庫県教育委員会阪神教育事務所副所長兼教育振興課長様、尼崎市教育長様をはじめ、多数の教育委員会関係者と市内の中学校の校長先生や道徳教育推進教師の皆様、また、西宮、川西、三田など他市の学校からも多くの先生方が参加していただき、総勢100名以上の研究発表会になりました。

14学級での道徳授業を公開しました。全学級でそれぞれの教材（読み物）を使った授業公開に多くの方が感心しておられました。夏休み中及び前後に小学校とともに何度も研修を行った成果だと自負しています。また、生徒の中には、挙手をし、自ら発言する生徒がおり、自発的・積極的に議論しようとする態度に感心された方もいらっしゃいました。

道徳の本来の授業は「正解を求める学習」ではなく、ましてや「お説教」の時間でもなく、読み物に出てくる人物の「行動の理由や思いを考え、議論する授業」です。『正解のない、一人一回だけの人生』を生き抜く『心の力』を育てるための授業です。高校には、「道徳」の授業はありません。小・中学校時代に「道徳学習」（心の学び）をしっかりとしておくことが求められます。心の教育は家庭教育との連携が重要ですが、これからも、日新中学校では道徳授業の理想を求めて、研究を重ねていきます。

校長講話の振り返り

日新中の挑戦～「挑戦を妨げる3つの言葉」「道徳は正解を求めない」～（9

月12日）

- （1年） 「できない」「むり」「いや」という言葉が私の中で一番残っている言葉です。「できない」などのネガティブな言葉を使うと教えている人もやっている人もやる気がなくなります。だから、「できない」を「きっとできる！」にかえるとやる気が出てきます。ポジティブな言葉を使うことはとても大切だと思います。
- （2年） 道徳の時に正解を求めようと思いつぎていたかもしれないです。心に限界はないという言葉聞いて、いろいろしたくなってきて、チャレンジすることを大切にしようと思います。
- （3年） 今日話していた「挑戦」ということも大事ですが、「挑戦」する前に「計画」を立てることが必要だと思います。ノープランでいきなりやってみようとなると、失敗しかねないのでまずは計画を立てた方がいいと思います。

部活動での表彰・阪神大会出場

尼崎市中学校新人大会が始まり、ソフトテニスでは、男子団体が3位に入賞し、団体及び個人1組、女子も個人1組が阪神大会に出場することになりました。陸上競技では、岸田一希（2年）が走り高跳びで2位に入賞しました。新人大会以外では、陸上競技部3年生（亀井公平、辻祐歩、奈良龍我、松原健

斗) が市中総体で入賞し、ソフトボール部が古屋敷杯争奪選手権大会で3位に入賞しました。

お知らせ 1年(国語)担当の川口智枝子が病気のため、しばらく休みます。国語担当として、飯沼加代子が着任しました。学年主任業務は、大西照光が代行します。よろしくお願いいたします。

「尼っ子スピーチフェスティバル」受賞者が市報9月号でも紹介されました

9月1日発行の尼崎市報に、昨年度の「尼っ子スピーチフェスティバル」で受賞した万代陽子(1年)が取材された記事が掲載されました。本校生徒2人目です。お読みいただけましたでしょうか。

学力向上アクションプラン(4)

「学力向上アクションプラン」の紹介の続きです。今回は「新学習システム」と「学力定着支援事業」についてです。

新学習システム(教員加配)

「新学習システム」とは、兵庫県教育委員会が実施する学力向上事業で、県内の小・中学校で展開されています。具体的には、法令で定められた人数以上に教員が配置(加配)され、少人数授業や同室複数指導を可能にすることで、本校で主として3年の数学・英語で、また、1年の数学・英語でも一部実施しています。生徒間の学力差が広がる中、進学に向けてより一層きめ細かな学習指導を進めるため、そして入学直後の「中1ギャップ」を緩和するためです。生徒が自らの関心・適性・能力・進路希望等に応じて集団を選び、意欲的に学ぶ『自律的学習者』に育つよう、少人数授業については、昨年度から、生徒が選択する集団に分けて展開しています。

学力定着支援事業(指導補助員配置等)

「学力定着支援事業」とは、尼崎市教育委員会が実施する学力向上事業の一つで、本校も対象の中学校に選ばれています。具体的には、「放課後学習」(チャレンジ・アフター・スクール)等に必要な指導補助員等の経費を負担したり、学校の実状に応じて授業への指導補助員を配置したりするもので、本校では、小学校外国語活動と異なり「読む」「書く」活動が困難に感じる1年の英語で月に3回程度ずつ指導補助員を配置して同室複数指導(ティームティーチング)を行っています。

10月の予定

CAS=チャレンジ・アフター・スクール(自主学習教室)

月	火	水	木	金	土	日
3 全校朝礼 専門委員会 CAS	4 CAS	5 中間テスト (市)全教科研究会	6 中間テスト 文化活動係別会議	7 英語検定	8	9
10 体育の日	11 CAS	12	13	14 CAS	15 市立中学校 総合体育大会	16
17 OS(オープンスクール) 合唱リハーサル	18 OS 5時間授業 CAS	19 OS 道徳授業公開 会場準備	20 OS 合唱コンクール 展示発表見学	21 OS 舞台発表 (展示発表)	22 創立記念日 きょうちくとう運動会	23
24 全校朝礼 特支学級代休日	25 (市)中高合同 音楽会	26 3年保護者対象進路説明会	27 演劇鑑賞会	28 (市)英語祭 CAS	29 漢字検定	30

